

園芸学第2版

金山喜則 編

執筆者（執筆順）：金山喜則・西山 学・田淵俊人・加藤一幾・執行正義・元木 悟・高田大輔・古藤田信博・立澤文見・鈴木克己・安場健一郎・山内直樹・菅谷純子・居城幸夫・小石鉄兵

日本の農業生産は食品産業の基盤であり、食料安全保障や人々の健康増進に貢献するとともに食に対する安全・安心への期待に応える重要な役割を担っている。その農業生産の総産出額の中で園芸生産が占める割合は、最近の50年間で約2割から約4割にまで増加し、最大の割合を占めるに至っている。このような重要な生産部門を担う園芸の教科書を新たに編集、刊行する意義は大きく、またその教育を支える本書の価値も同様である。

（「まえがき」より一部抜粋）

目次：第1章 総論（園芸学とは／園芸の統計／種類と分類／作型と育苗）、第2章 園芸植物の形態（栄養器官の形態／生殖器官の形態）、第3章 園芸作物の生理（休眠と休眠打破／発芽／光合成／花芽形成と生殖／種子の形成と果実の発育／老化と細胞死／水と無機栄養／植物ホルモン）、第4章 園芸作物の育種とNPBTおよび繁殖（育種方法と園芸育種／種苗の繁殖方法／組織培養による繁殖と育種）、第5章 園芸作物の発育における生理生態的特性と栽培管理（野菜／落葉果樹／常緑果樹／花き）、第6章 農業資材および生産施設と植物工場（農業資材を用いた栽培方法／施設園芸／養液栽培とポット栽培／植物工場）、第7章 スマート農業（スマート農業の背景／スマート農業を支える技術／省力化技術／精密農業技術／スマート農業の教育／スマート農業の問題点）、第8章 園芸作物の品質保持（園芸作物の収穫後生理／収穫後園芸作物の予冷と低温流通／野菜および果実の品質保持／花きの品質保持）、第9章 園芸作物の栄養成分と機能性成分（野菜および果実の栄養成分特性／野菜の機能性成分／果実の機能性成分／花きの機能性成分）、第10章 SDGsと園芸（SDGsに貢献する園芸／園芸がもたらす効果／園芸福祉と園芸療法／園芸と教育／園芸とコミュニティ／園芸作物の有機栽培／リサイクルと食品ロス／園芸と安全性／園芸と生物多様性）。



A5判・328頁

定価6,050円(本体5,500円+税)

ISBN 978-4-8300-4144-0

 文永堂出版

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-27-18

<https://buneido-shuppan.com>

TEL 03-3814-3321

FAX 03-3814-9407